

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 1月 15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672900190
法人名	医療法人 健誠会
事業所名	認知症対応型共同生活介護 すこやか
所在地	鹿児島県日置市東市来町湯田3007番地 (電話)099-274-3672
自己評価作成日	2011年 10月 1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成23年11月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住宅街に建てられたホームであり、周囲には公園や商店などがあり、入居者にとって静かで安全な馴染み易い環境にある。医療機関も併設しており、健康管理を行う上で、ご家族にも安心と信頼を得られた生活が送れている。

入居者が楽しく笑顔ですこやかに暮らすために、日々の会話を大切にし、毎月の季節にあった行事を行いながら入居者の笑顔を引き出せるように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 住宅街に近接した母体医療機関に隣接して建てられ、周囲には公園や商店街のある比較的静かでゆったりと落ち着いた雰囲気が漂っているホームである。医療機関との連携は密に図られ、利用者の健康管理と安全確保に重点を置いて、日常のケアの充実に管理者と職員が一体となって取り組んでおり、ご家族からの信頼も厚いものがある。
- 利用者のご家族とは訪問時の対話や担当者会議、年2回の家族会などで話しやすい雰囲気作りに努めて十分な意見交換を行っている。職員は内容を共有し、必要時ケアプランにも反映して、サービスの質の確保及び向上に取り組み、改善結果等については運営推進会議などで報告している。
- 管理者は朝夕の申し送り時や月1回の「すこやか会議」及び勉強会等で職員の意見や提案を聞き取り、業務改善や利用者へのサービス向上に反映するように取り組んでいる。
- 本人や家族の意向や希望、関係者からの情報を基に、職員全員で十分な意見交換を行い、職員の意見やアイデアも反映したきめ細かなわかりやすい介護計画を作成している。ケアの経過は詳細に記録され、それを基に介護計画の見直し修正が適切に行われている。
- 管理者は、利用者の食事への楽しみを充実させるために細かな配慮をしている。献立・味付け・調理方法等も臨機応変に修正して職員と利用者が楽しく食事できるように工夫し、検食簿は写真及びメニューと食材、検食内容と所見が細かく記録され、食事改善に反映できるようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「地域社会の一員として」安心して過ごせるという地域密着型サービスの趣旨を反映させた理念に基づき実践に努めている。	事業所の理念に沿って、地域に溶け込んだ、そして家庭的な暮らしの実現を目指し、利用者個々に応じたサービスを提供している。毎朝夕の申し送りや月1回の「すこやか会議」及び勉強会を通じて理念の理解を深めるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域の行事には積極的に参加している。散歩や買物で出会う方々と気軽に声を掛け合ったり、立ち寄ってもらえるように日常的な会話をしている。	ホームで開催する誕生会や季節の行事には家族や地域の方々に参加して頂いている。また、自治会に加入しており、回覧板等で案内される地域の夏祭り・馬踊り・木市等の行事や婦人会主催のいきいきサロン等に積極的に参加して交流を図っている。近隣の方々の訪問もあり、利用者はこれらの交流を楽しみにしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域行事等に参加した際、地域の方々へ何でも気軽に相談して頂けるように呼びかけたり、福祉体験学習や介護実習生の受入れも要請があれば積極的に受入れられている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	生活状況及びサービス提供状況を報告し、意見交換を通して、毎月の振り返りを行いながら、サービス向上に向け取り組んでいる。	会議は利用者・家族・地域住民・民生委員・行政の職員・近隣のグループホームの管理者など多くの参加があり、利用者及び事業所の状況報告や問題点等について活発に話し合わせ、そこでの提案や意見を日々のサービス向上に具体的に結び付けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村とは書類手続きやサービス提供に関し、何でも気軽に相談にのってもらえるような言葉かけをしてもらっており、意見交換をしながらサービスの向上に取り組んでいる。	市担当者には毎回の運営推進会議に出席して頂くと共に、入退所や認定更新の手続き時にも報告や相談事項に対して適切に助言・対応して頂くなどの連携を図り、サービスの質向上に取り組んでいる。また、市の包括支援センター主催の「グループホーム連絡会」でも積極的に意見交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員全員が鍵をかけることへの弊害を理解出来るよう、職員会議や勉強会を通して説明し、ホームの出入り口には、センサーを設けて入居者の方々の安全に配慮している。また、言葉かけによる拘束にも注意を払いながらケアに努めている。	言葉かけによる拘束をはじめとする身体拘束については、職員会議や勉強会・朝夕の申し送り、繰り返し十分な理解への取り組みとケアへの反映について説明と意見交換がなされている。利用者が外出しそうな様子を察知した場合は職員が同行し、近隣の方々には「いきいきサロン」や地域の行事等の際に、見守りや声かけをしてもらえるような関係づくりに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議や勉強会を通し、抑制や虐待について考え、個々の対応を振り返り、情報を共有しながら、職員一人ひとりが意識したケアにつながるよう注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	過去に成年後見制度を利用した事例はあるが、現在対象者はいない。必要な方がいらした場合には支援していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書は、十分な説明を行った上で、ご家族の同意を得ている。解約は契約者との話し合いの中で、信頼関係のもと円滑に行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者からのサインを見逃すことのないよう、些細な事でも職員が早めに気づき対応出来るように努めている。また、個別の会話に努め、不満や相談事などがないか確認し、早期解決を図っている。	利用者の思いや意見は日常の会話や個別の聞き取り、表情や所作の見守りなどで把握に努めている。ご家族とは訪問時の対話や担当会議、年2回の家族会などで意見交換を行い、経過記録や議事録に詳細に記録している。職員は内容を共有しながら、必要時ケアプランにも反映し、サービスの質の確保及び向上に取り組み、改善結果等については運営推進会議などで報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や定期的な個人面談等で、職員からの意見を聞くようにし意見や助言を行いながら、話し合いの中で取り入れるようにしている。	管理者は朝夕の申し送り時や月1回の「すこやか会議」及び勉強会等で職員の意見や提案を聞き取り、業務改善や利用者へのサービス向上に反映するように取り組んでいる。内容は会議録及び入居者用と職員用に区分けされた申し送りノートに詳細に記録され、職員が共有できると共に、更なる改善に役立てる仕組みが構築されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課制度の導入に取り組み、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努め、柔軟な勤務体制に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内学習のほか、外部研修への参加、毎月の勉強会や職員会議を通して、日々の生活を振り返りながらトレーニング出来るよう職員育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホーム間で、運営推進会議への相互参加を行い意見交換を行っている。また、協会の研修参加や連絡会での交流や意見交換が出来ており、質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談時に困っていること、不安なことなど、何でも相談しやすい雰囲気づくりに努め、生活状況を見極め要望等がないか確認し、信頼関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談時に困っていること、不安なことなど、何でも相談しやすい雰囲気づくりに努め、ご家族が面会に来られた際も、生活状況の報告や要望等がないか確認し、信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者及びご家族が何を望んでおられるかを良く聞き、どのような支援が最適か、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	老いや認知を感じさせないように、言葉かけには十分配慮し、調理の仕方や畑仕事など、入居者から教えてもらい、お互いに支えあう関係が築けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	散歩や行事など共に過ごす時間を共有し、職員、入居者、ご家族の想いにズレが生じないように、一緒に支えていく関係づくりに取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの美容院へ行ってもらったり、友人からのお便りの返書書きをお手伝いし、なじみの関係が途切れないよう支援している。	利用者の知人や友人の訪問の際には、個室でゆったりとくつろげるように可能な支援を行っている。また、年賀状や暑中見舞い等の作成、本人が希望する美容院・商店などへの同行及びその折の知人との交流も積極的に支援している。特に外出については「すこやか日誌」に記録して偏りが生じないように配慮も行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席順の配慮を行いながら気の合うお友達とテーブルを一緒にしたり、さりげない言葉かけや援助で、入居者同士関わり合いがもてるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	疑問や困ったことなど、いつでも相談していただけるような関係づくりに努めている。また、病院のMSWや居宅介護支援事業所とも情報交換が出来るよう連携に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、ご家族にどのような暮らしを希望されるか良く聞き、希望に沿った暮らしが出来るように努めている。また、日頃の会話からも思いを受け止め、暮らしに活かせるよう努めている。	日々の生活の中で思いや希望の把握に努めると共に、本人の暮しに何が最良であるかを家族の訪問時に聞き取っている。「申し送りノート」や「すこやか日誌」で職員は情報を共有し、十分に意見交換して必要な対応を検討し、利用者本位の支援に結びつくよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者個々の思いを受け止め、ご家族や知人からも、生活歴などを聞くように努め、職員会議を通して、共通理解が持てるよう連携に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活を通し残存機能の把握に努め、心身の状態変化や日々の変化など申し送りや日誌等で情報を共有し、快適な日常生活が送れるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人との日常の会話やアセスメント等で得られた意向に添って、必要な関係者と話し合い、職員会議等での意見交換を経て、介護計画を作成している。	本人や家族の意向や希望、関係者からの情報を基に詳細なアセスメント表を作成すると共に、職員全員で十分な意見交換を行い、職員の意見やアイデアも反映したきめ細かなわかりやすい介護計画を作成している。経過はモニタリングシートや経過記録に具体的に記述し、計画の見直しや修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の気づきや、実践、結果など、個別に記録し日誌や送りノートで情報共有している。不明な点はその都度確認して、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院介助や外出、外泊支援、個別の買い物支援を行っており、家族宿泊時は布団、食事提供できる体制はある。外出の際、車椅子等必要な物についても貸し出しを行い、柔軟に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の意向や必要性に応じて他のサービス利用を支援する体制はある。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関の支援は、本人の意向やご家族の希望を優先し支援している。また、協力病院で定期的に受診を行い、適切な医療ケアが提供できるよう努めている。	利用前の受診経過は十分に把握されており、家族や医師との連携は密になされ、隣接する母体医療機関や協力医療機関の受診を職員が同伴して支援している。受診状況や必要な対応も職員をはじめとする関係者で情報の共有が図られ、ご家族への連絡も適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力病院の外来看護師との連携で、健康管理について気軽に相談でき、支援が出来る体制にある。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、必要な情報を提供し、医師からも入院計画書の提供などを受け、連携を図り早期に退院できるよう情報交換や相談に努めている。また、職員や入居者も面会に行き励ましの言葉をかけている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族会や運営推進会議などを通して、重度化や終末期に向けた方針の共有を図っている。また、退居条件と照らし、個々の家族と話し合いを行いながら方針の共有に努めている。	重度化や終末期の対応については、重要事項説明書に記載の退居条件を基に、事業所が対応できる最大のケアについて本人やご家族に十分説明して理解が得られるように取り組んでいる。利用者の段階に応じて、職員やかかりつけ医、ご家族と十分な話し合いを行い、適切な支援が提供できるように努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応について、職員会議や個別に説明を行っている。また、協力病院との夜間対応の連携はできている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>入居者参加で年2回実施しており、近隣の方々や御家族の方々にも訓練の様子を見学してもらい、災害時の協力をお願いしている。</p>	<p>避難訓練、消火器の使い方訓練や避難経路の確保などは、地域の消防署の協力を得ながら年2回行われている。これらの訓練は、地域住民や民生委員・家族にも参加して頂き、職員と利用者が一緒に行っている。スプリンクラーの設置や食料・飲料水・衣類等の備蓄も十分である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会議や勉強会を通し自尊心を傷付けないよう説明している。また、日常的に職員間でもやさしい言葉かけが出来るように配慮している。	利用者の誇りやプライバシーを損ねないように、丁寧な声かけや対応を申し送りや勉強会で繰り返し確認している。日常生活での観察は細やかに、利用者の人格や感性を大切に、利用者個々のペースに合わせたケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員中心の言葉かけにならないよう言動の観察を行い、残存能力を活かしたケアに努めている。自己決定できない方には、その方の気持ちになり支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には、日課に沿った生活ではあるが、個々の意向に合わせ、無理強いしないよう言葉かけを行い、希望があれば可能な限り対応し支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床と就寝の際は、更衣を行い服装は本人の嗜好にあったものを着用されるよう支援している。また、化粧をされる方の見守りや慣れ染みの美容院に行かれる方への支援に努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の嗜好を把握し、状況や希望によって対応出来るようにしている。また、食事準備から後片付けの参加は、個々の能力に応じた支援を行い楽しい雰囲気づくりに努めている。	買物や食事の準備・後片付けなど、利用者の能力に応じて参加してもらい、献立・味付け・調理方法等も臨機応変に修正して職員と利用者が楽しく食事できるように工夫している。また、検食簿は写真及びメニューと食材、検食内容と所見が細かく記録され、食事改善に反映できるように仕組みづくりがなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量、体重チェックを行い変化があった際は職員会議等で確認し、共通理解に努め、個々の嗜好に合わせた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの状況をさりげなく確認し、入居者個々の状態に応じて、言葉かけや誘導、介助を行い口腔内の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々にあった排泄パターンを把握し、排泄用具の昼夜の使い分けや、言葉かけでの誘導をしている。又、紙オムツに頼らないケアを目指し、職員会議や勉強会の中で共通理解が出来るよう努めている。	利用者の細かい様子観察や排泄チェック表の活用による利用者個々の排泄リズムを把握し、可能な限りの援助方法を検討して自立のための支援を行っている。利用者個々に合わせた排泄用具等の使い分けなどの工夫もプランに組み込み、言葉かけを始めとして羞恥心や不安の軽減に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日頃より食事のバランスや適度な運動、水分補給などに配慮し取り組んでいる。また、便秘についての理解をし、下剤に頼らない形で自然排便が出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の希望があれば毎日でも入浴は可能であり、拒否が強い時は無理強いせず、一人ひとりに合った入浴の介助を行い、状況に合わせた入浴を支援している。	原則として毎日午後は入浴可能であるが、家族からの情報や本人の希望、健康状態や体調に沿ってタイミングよく対応するように努めている。不安や羞恥心等による入浴忌避者に対しては、職員の交替や言葉かけを工夫するなどして気分転換を図るようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々の日課にとらわれず、その日の体調に合わせた休息や個々の生活習慣を見守り、不安なく安眠出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の情報を共有し、薬の目的や副作用等について理解している。変更があった際は、症状の変化が無いか観察を行い職員会議や勉強会等で情報共有に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にあった生活リズムが作れるよう日常の会話や家族からの情報をもとに、個々の得意な事を見出し、生活習慣を活かしながら生きがい対策支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の希望に添って、日々の散歩や季節の行事を通して、家族と共に過ごす機会づくりに努めている。また、食材の買い物に同行して頂き、地域の方々の協力も得られ気分転換が図れるよう支援している。	利用者の健康状態や天候を見ながら、散歩や近隣の商店への食材の買い物など、家族や地域の人々と協力しながら外出が楽しみなものになるように支援をしている。また、地域の馬踊りや木市、夏祭り、グループの介護老人保健施設の行事、水族館や初詣など、季節に合わせた外出を数多く企画して、可能な限り楽しく外出できるように工夫・支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の能力にあった金銭管理を行ない、行事や買い物への参加で、使える支援を行なっている。また、ご家族の理解のもとそれぞれに対応できるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の取次ぎはもちろん、携帯電話を持たれている方、自分でかけたいとの希望があれば個々に合わせた対応をしている。また、年賀状や書中見舞い作成を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音楽、テレビの音量はその時々で個々に合わせて調整し、採光も天候に注意しながら調節している。また、季節の花を飾ったりして季節感が得られる空間づくりに努め、居心地よく過ごせるよう工夫している。	共用空間はゆったりとしたスペースで明るく、室温や換気調節にも十分に配慮がなされている。畳のスペースや大きめのソファ・季節の花飾りなどが見られ、利用者にとって不快に感じる音や匂いなども感じられず、自由に、そして気持ちよくくつろげるような環境である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳やソファで思い思いに過ごせる居場所があり、本や新聞、テレビなど自由に観賞できる。また、気の合う方との会話やテーブル配置も工夫し、居心地の良い空間づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に馴染みの物を持ち込んでいただくよう声かけし、居室も本人が住みやすいように配置を工夫している。</p>	<p>居室のベッドや家具はホームが準備したものであるが、向きや配置は利用者やご家族の希望に沿って、自由に、居心地よく過ごせるように配慮している。また、利用者が使い慣れた小物や時計・写真等が持ち込まれ、本人が自分の部屋として落ち着いて、その人らしく暮らせるようになっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室やトイレ、浴室など場所が分かり易いように表示し、日常的な不安が生じないよう個人に合わせた環境作りに努め生活自立への支援を行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「地域社会の一員として」安心して過ごせるという地域密着型サービスの趣旨を反映させた理念に基づき実践に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域の行事には積極的に参加している。散歩や買物で出会う方々と気軽に声を掛け合ったり、立ち寄ってもらえるように日常的な会話をしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域行事等に参加した際、地域の方々へ何でも気軽に相談して頂けるように呼びかけたり、福祉体験学習や介護実習生の受入れも要請があれば積極的に受入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	生活状況及びサービス提供状況を報告し、意見交換を通して、毎月の振り返りを行いながら、サービス向上に向け取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村とは書類手続きやサービス提供に関し、何でも気軽に相談にのってもらえるような言葉かけをしてもらっており、意見交換をしながらサービスの向上に取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員全員が鍵をかけることへの弊害を理解出来るよう、職員会議や勉強会を通して説明し、ホームの出入り口には、センサーを設けて入居者の方々の安全に配慮している。また、言葉かけによる拘束にも注意を払いながらケアに努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議や勉強会を通し、抑制や虐待について考え、個々の対応を振り返り、情報を共有しながら、職員一人ひとりが意識したケアにつながるよう注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	過去に成年後見制度を利用した事例はあるが、現在対象者はいない。必要な方がいらした場合には支援していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書は、十分な説明を行った上で、ご家族の同意を得ている。解約は契約者との話し合いの中で、信頼関係のもと円滑に行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者からのサインを見逃すことのないよう、些細な事でも職員が早めに気づき対応出来るように努めている。また、個別の会話に努め、不満や相談事などが無いか確認し、早期解決を図っている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や定期的な個人面談等で、職員からの意見を聞くようにし意見や助言を行いながら、話し合いの中で取り入れるようにしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課制度の導入に取り組み、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努め、柔軟な勤務体制に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内学習のほか、外部研修への参加、毎月の勉強会や職員会議を通して、日々の生活を振り返りながらトレーニング出来るよう職員育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホーム間で、運営推進会議への相互参加を行い意見交換を行っている。また、協会の研修参加や連絡会での交流や意見交換が出来ており、質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談時に困っていること、不安なことなど、何でも相談しやすい雰囲気づくりに努め、生活状況を見極め要望等がないか確認し、信頼関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談時に困っていること、不安なことなど、何でも相談しやすい雰囲気づくりに努め、ご家族が面会に来られた際も、生活状況の報告や要望等がないか確認し、信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者及びご家族が何を望んでおられるかを良く聞き、どのような支援が最適か、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	老いや認知を感じさせないように、言葉かけには十分配慮し、調理の仕方や畑仕事など、入居者から教えてもらい、お互いに支えあう関係が築けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	散歩や行事など共に過ごす時間を共有し、職員、入居者、ご家族の想いにズレが生じないように、一緒に支えていく関係づくりに取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの美容院へ行ってもらったり、友人からのお便りの返書書きをお手伝いし、なじみの関係が途切れないよう支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席順の配慮を行いながら気のお友達とテーブルを一緒にしたり、さりげない言葉かけや援助で、入居者同士関わり合いがもてるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	疑問や困ったことなど、いつでも相談していただけるような関係づくりに努めている。また、病院のMSWや居宅介護支援事業所とも情報交換が出来るよう連携に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、ご家族にどのような暮らしを希望されるか良く聞き、希望に沿った暮らしが出来るように努めている。また、日頃の会話からも思いを受け止め、暮らしに活かせるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者個々の思いを受け止め、ご家族や知人からも、生活歴などを聞くように努め、職員会議を通して、共通理解が持てるよう連携に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活を通し残存機能の把握に努め、心身の状態変化や日々の変化など申送りや日誌等で情報を共有し、快適な日常生活が送れるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人との日常の会話やアセスメント等で得られた意向に添って、必要な関係者と話し合い、職員会議等での意見交換を経て、介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の気づきや、実践、結果など、個別に記録し日誌や申送りノートで情報共有している。不明な点はその都度確認して、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院介助や外出、外泊支援、個別の買い物支援を行っており、家族宿泊時は布団、食事提供できる体制はある。外出の際、車椅子等必要な物についても貸し出しを行い、柔軟に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の意向や必要性に応じて他のサービス利用を支援する体制はある。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関の支援は、本人の意向やご家族の希望を優先し支援している。また、協力病院で定期的に受診を行い、適切な医療ケアが提供できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の外来看護師との連携で、健康管理について気軽に相談でき、支援が出来る体制にある。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、必要な情報を提供し、医師からも入院計画書の提供などを受け、連携を図り早期に退院できるよう情報交換や相談に努めている。また、職員や入居者も面会に行き励ましの言葉をかけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族会や運営推進会議などを通して、重度化や終末期に向けた方針の共有を図っている。また、退居条件と照らし、個々の家族と話し合いを行いながら方針の共有に努めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急対応について、職員会議や個別に説明を行っている。また、協力病院との夜間対応の連携はできている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	入居者参加で年2回実施しており、近隣の方々や御家族の方々にも訓練の様子を見学してもらい、災害時の協力をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会議や勉強会を通し自尊心を傷付けないよう説明している。また、日常的に職員間でもやさしい言葉かけが出来るように配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員中心の言葉かけにならないよう言動の観察を行い、残存能力を活かしたケアに努めている。自己決定できない方には、その方の気持ちになり支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には、日課に沿った生活ではあるが、個々の意向に合わせて、無理強いしないよう言葉かけを行い、希望があれば可能な限り対応し支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床と就寝の際は、更衣を行い服装は本人の嗜好にあったものを着用されるよう支援している。また、化粧をされる方の見守りや慣れ染みの美容院に行かれる方への支援に努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の嗜好を把握し、状況や希望によって対応出来るようにしている。また、食事準備から後片付けの参加は、個々の能力に応じた支援を行い楽しい雰囲気づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量、体重チェックを行い変化があった際は職員会議等で確認し、共通理解に努め、個々の嗜好に合わせた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの状況をさりげなく確認し、入居者個々の状態に応じて、言葉かけや誘導、介助を行い口腔内の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々にあった排泄パターンを把握し、排泄用具の昼夜の使い分けや、言葉かけでの誘導をしている。又、紙オムツに頼らないケアを目指し、職員会議や勉強会の中で共通理解が出来るよう努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日頃より食事のバランスや適度な運動、水分補給などに配慮し取り組んでいる。また、便秘についての理解をし、下剤に頼らない形で自然排便が出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の希望があれば毎日でも入浴は可能であり、拒否が強い時は無理強いせず、一人ひとりに合った入浴の介助を行い、状況に合わせた入浴を支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々の日課にとらわれず、その日の体調に合わせた休息や個々の生活習慣を見守り、不安なく安眠出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の情報を共有し、薬の目的や副作用等について理解している。変更があった際は、症状の変化が無いかわかり観察を行い職員会議や勉強会等で情報共有に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にあった生活リズムが作れるよう日常の会話や家族からの情報をもとに、個々の得意な事を見出し、生活習慣を活かしながら生きがい対策支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の希望に添って、日々の散歩や季節の行事を通して、家族と共に過ごす機会づくりに努めている。また、食材の買い物に同行して頂き、地域の方々の協力も得られ気分転換が図れるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の能力にあった金銭管理を行ない、行事や買い物への参加で、使える支援を行なっている。また、ご家族の理解のもとそれぞれに対応できるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の取次ぎはもちろん、携帯電話を持たれている方、自分でかけたいとの希望があれば個々に合わせた対応をしている。また、年賀状や書中見舞い作成を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音楽、テレビの音量はその時々で個々に合わせて調整し、採光も天候に注意しながら調節している。また、季節の花を飾ったりして季節感が得られる空間づくりに努め、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳やソファで思い思いに過ごせる居場所があり、本や新聞、テレビなど自由に観賞できる。また、気の合う方との会話やテーブル配置も工夫し、居心地の良い空間づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みの物を持ち込んでいただくよう声かけし、居室も本人が住みやすいように配置を工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレ、浴室など場所が分かり易いように表示し、日常的な不安が生じないよう個人に合わせた環境作りに努め生活自立への支援を行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない